

~108-day countdown event to G7 summit~

2月8日 伊勢志摩サミット開催<sup>ト</sup><sup>パ</sup>108日前イベント

## 実施報告

8:30~ 石神さんへお参り



女性の願いをひとつ叶えてくれると言われる相模町の石神さん。この石神さんにお参りするため、三世代海女の「中川静香さん」と鳥羽市のゆるキャラ「トパティ」、「ジュジュちゃん」の女子3名が8:30に「海女の家 五左屋」に集合しました。



朝の清々しい空気の中、ゆるキャラが出せる最高速度をキープしながら石神さんへと向かう3人。

鳥居をくぐって記念撮影。



到着した石神さんでは、祈願用紙とお賽銭は中川さんにお任せして、2礼2拍手1礼にもチャレンジ。



お参りが終わってから、みんなの願いを披露しました。

中川さんは「伊勢志摩サミットの成功」をお願い。中川さんいわく、「こんな世界規模のお願いをするのは初めて。」とのコメント。

トパティは「世界の女性の活躍」を、ジュジュちゃんは「2月11日の石神さん女子マラソンの安全」をそれぞれお祈りしていました。



## 10:00～ 市民参加！花いっぱい歓迎空間づくり

伊勢志摩サミット三重県民会議が呼びかけている「花いっぱい活動」が、伊勢志摩サミット50日目の4月上旬にキックオフとなります。鳥羽のまちを見てみると、ところどころに花は咲いているものの少し寂しい、ということで、50日目を待たずに、鳥羽市の玄関口である鳥羽駅前において、市民参加による花の寄せ植えを実施し、まちを美しくしようということになりました。



集合場所は、近鉄鳥羽駅の御木本幸吉銅像前。すでに結構な人数がお揃いです。

午前10時、伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議実行委員長の木下副市長のあいさつで始まりました。

ヤマジ園芸さんからは、寄せ植えのコツを伝授。ポットに収まっていた底と側面の部分の根っこをほぐし、「グッ」と押さえるように植えるらしいです。



最初に、みんな揃って記念撮影。いい笑顔です。報道の方もたくさん集まっていたいただきました。

三世代海女の中川静香さんの号令でスタート。寒い中の白の磯着はプロの証。



赤、黄、白。パンジーやピオラ、デージーなどのきれいな花が次々と植えられていきます。



婦人会の方々



「10.8 鳥羽の日実行委員会」さん



海島遊民くらぶのお二人

みなさん手慣れたもので、あっという間に作業は完了し、笑顔で解散となりました。

花を植え終わった中川さんからは「鳥羽が花と人でいっぱいになれば嬉しい。世界から鳥羽を訪れる人をあたたかく迎えたい。」とのコメントをいただきました。

## 14:00～ 鳥羽一郎プロデュース

### 「海をまもる現役海女戦士とばぁば」知事訪問

昨年十二月にCDデビューした市公認の現役海女アイドルユニット「とばぁば」が県庁を訪れ、鈴木英敬知事にデビューシングル「We are the とばぁば！」を手渡し、今後のさらなる活躍を誓いました。

記者に囲まれ、知事も一緒に決めポーズ。

「とばぁば」は伊勢エビ風の赤い衣装に身を包んだ「えびりん」、アワビの飾りがついた青い衣装の「あわびこ」による二人組。

それぞれ現役海女の出間リカさん(51)と鈴木みゆきさん(60)が扮しています。

デビューシングルは鳥羽一郎さんがプロデュース。鳥羽の魅力进行歌い上げ、現在、約400枚を売り上げています。



とばぁば二人は、昨年十二月のCDデビューや東京お台場でデビュー記念イベントを実施したことを知事に報告。

「ライバルはAKB48。おばちゃんたちでも頑張れる」、「ずーと続けていきたいので、皆さんどしどしお呼びください」と抱負を語りました。

鈴木知事は「AKBがライバルとはいいいですね。」と笑顔で話していました。